

横浜市立大学名誉博士称号授与規程

制 定 平成 17 年 4 月 1 日 規程第 99 号

最近改正 平成 30 年 4 月 1 日 規程第 17 号

(趣旨)

第 1 条 本学は、この規程の定めるところにより、名誉博士の称号を授与することができる。

(資格)

第 2 条 名誉博士の称号の被授与資格は、人類の学術文化の発展と交流に多大な業績を挙げ、教育研究に寄与した功績が顕著であると認められた者とする。

(候補者の推薦)

第 3 条 学群長、学部長及び研究科長は、前条に該当すると認められる者（以下「候補者」という。）があるときは、教授会の議を経て学長に推薦することができる。

2 学長は前項の推薦があったとき、又は学長が推薦する候補者があるときは、経営審議会及び教育研究審議会に付議するものとする。

(称号の授与)

第 4 条 名誉博士の称号は、経営審議会及び教育研究審議会の議を経て、学長がこれを授与する。

(名誉博士記)

第 5 条 名誉博士には、名誉博士記（別記様式）を交付する。

(雑則)

第 6 条 この規程に定めるもののほか、名誉博士の称号の授与に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 30 年規程第 17 号）

この規程は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

別記様式（第5条）

名 博 第 号
名 誉 博 士 記
国 籍 （必要に応じて記載する。）
氏 名
あなたは人類の学術文化の交流と発展に多大な業績を挙げ教育研究上顕著な功績がありましたので横浜市立大学名誉博士の称号を授与します
年 月 日
横浜市立大学
校 印

- 備考
- 1 必要に応じて、英語による訳文を添付する。
 - 2 紙型の規格はA3とする。